

三井地区農業振興協議会
J A み い
久留米普及指導センター

1. 土づくり

2. 排水対策

3. 種子更新と適期・適量播種

(1) 播種適期

※大豆の後作は、大麦の作付けを行いましょう。

(2) 播 種 量 (10a当り)

※厚播は倒伏しやすく、品質が低下しやすい。大豆後作麦は播種量を減ずる。

(3) 播種深度
適正深度 2～3cm(大豆の後作は、深播きになりやすいので、注意する。)

4. 種子消毒

(種子10kg当り)

※小麦のヤキシロトヒムシ多発生は場の対策（種子10kg当り）
クルーザーFS30 60mlを塗沫処理し乾燥後、ベンレートTコート 50gを種子粉衣する。

5. 施肥基準

【追肥一発体系】 (10a当り)

※大豆後作の基肥量は、基準より約5割減らし、追肥は生育に応じて加減する。

【分施体系】

※大豆後作の基肥量は、基準より約5割減らし、追肥は生育に応じて加減する。

●品質基準が設定され、①タンパク質含有率②灰分③フォーリングナンバー④容積重の基準を下回ると生産・品質に基づく支払い単価が変わります。そのため栽培管理として追肥の徹底と基本技術の励行が重要です。

6. 除草劑使用基準

※雑草防除のポイント

- 初期除草剤は、雑草が発生する前に散布し雑草の発生を抑える。
- 生育期間中は、中期除草剤または、耕種的防除（土入れ）を組み合わせることで雑草の防除を行う。

7. 赤かび病防除基準

※はるか二条は赤かび病に弱いので、2回防除を徹底する。
2回目防除は1回目防除の7～10日後に行う。ワークアップ粉剤DL 3kg/10a当り又は
ワークアップフロアブル2000倍(水100ℓに50ml)/10a当り
※網斑病対策(大麦のみ)チルト乳剤25、1000倍(水100ℓに100ml)/10aを出穂前に散布する。

8. 收穫

穀粒水分が大麥・小麦とも25%以下、大麥では穂首が80%程度曲がった時に収穫する。

品種特性表

※栽培履歴（管理日誌）はご記入の上、提出してください。

●農薬の安全・適正使用、飛散防止の徹底！

※農薬の登録内容は随時変更されます。農薬を使用する際には、再度、包装容器・袋に記載されている有効期限および登録内容を確認して下さい。

※農薬の散布時は、風向きに注意し、農薬が周辺作物へ飛散しないように注意しましょう。

(令和5年9月作成)